

先住民族の集団的権利を求める署名

イギリス政府は、国連で先住民族の権利の承認を妨害しています。先住民族たちは、イギリスを「嫌悪すべき恥ずかしい」態度と呼んでいます。政府は、集団的人権が先住民族にあることを認めようとしません。この姿勢は、先住民族の権利を認める国連宣言の草稿を回避しています。イギリスは、その代わりに、先住民族の「個人的」権利だけが認められると考えています。この考え方は、現行の国際法に反し、また過去に先住民族の土地を分解させ、彼らの文化を崩壊させました。イギリス政府は、先住民族に関する重要な国際法であるILO条約第169号の批准も拒否しています。

私たちは、イギリス政府に以下の点を訴えて署名します。

- ・先住民族の集団的権利は、独自の民族として生存に不可欠なものであると認めること。
- ・国連宣言の草稿が、これ以上遅滞せずに認められるように、承認の妨害を止めること。
- ・ILO条約第169号を批准すること。

名前 (Name)	住所 (Address)	署名 (Signature)

ILO条約第169号とは、1957年の先住民族および種族民条約（第107号）を発展させ、先住民・種族民たちが独自の文化、伝統、経済を維持してゆくことを尊重するため、その一部を改正して1989年に採択されました。政府は開発などに際して、住民の代表的団体を介して手続きをし、協議することになっています。特に土地について、伝統的な権利に対する特別な配慮が、その後の国連の活動に影響を与えました。日本政府は、第107、169号のいずれの条約も批准していません。

署名は、*Survival International* を通じてイギリス政府に提出されます。

送り先：〒709-0403 岡山県和気郡和気町日笠下 1087 真実一美

〒261-0001 千葉県美浜区幸町 1-7-1-403 森本和男

<http://www.survival-international.org/>(英語)

<http://www.asahi-net.or.jp/~vi6k-mrmt/survival.htm>(日本語)

(See reverse side in English.)

Petition for the collective rights of tribal peoples

The UK government is blocking the recognition of tribal peoples' right at the UN. Tribal people have called the UK's position 'abhorrent and shameful' The government refuses to accept that tribal people have collective human rights; this attitude is preventing the draft UN declaration on indigenous peoples' rights being agreed. The UK instead wants only tribal peoples' *individual* rights to be recognised; this is counter to existing international law and has led in past to the break up of tribal lands and the destruction of their cultures. The UK government also refuses to ratify ILO Convention 169, the main international law on tribal peoples.

We the undersigned call upon the UK government to:

- recognise that tribal peoples' collective rights are vital for their survival as distinct peoples.
- stop blocking agreement on the draft UN declaration, so that it can be agreed without further delay.
- ratify ILO Convention 169.